

第1回 委員会資料（野洲駅南口駅前広場資料）

1 . これまでの経緯	
1) 検討経緯の整理	1
2) H17～H21における検討経緯	2
3) 野洲駅中心市街地整備計画（案）の概要	3
2 . 野洲駅南口駅前広場整備計画（案） に対する市民意見への対応	6
1) 野洲駅南口駅前広場整備計画（案）の公表	6
2) 野洲駅南口駅前広場整備計画（案）について	7
3) 市民意見への対応	8
3 . 実施設計において、委員会で検討する項目	
1) 検討項目の整理	10

1) 検討経緯の整理

- ・H17～H22において、野洲駅周辺及び野洲駅前広場における検討を行っております。
- ・各年度に実施した検討内容等について下表にとりまとめます。また、次項以降に各検討における野洲駅南口の検討結果を示しています。

表. これまでの検討経緯一覧

年度	検討内容	結果	検討母体	備考
H17	野洲駅南口駅前広場及び隣接する市有地（Dブロック）において、駅前広場内交通の改善等を目的とした土地利用計画を策定する。また、「野洲駅南口土地利用計画協議会」を設置し、市民意見を反映できるようにする。	円滑な駅前交通が可能となるように、バスプールや自家用車乗降場などの空間を確保できるようDブロックを利用し、小ロータリーを無くし、歩行者と自動車の分離を図った。	・野洲駅南口土地利用計画協議会	
H19	野洲駅前を中心とした区域の再生整備を図ることを目的とする基本計画を策定する。そのために、野洲駅前中心市街地整備計画検討委員会を設置し、市民意見を反映できるようにする。	ペDESTリアンデッキ整備を含む野洲駅南口駅前広場再整備やC地区公園整備、野洲駅北口の横断歩道橋、祇王井川修景広場の整備などを計画した。	・野洲駅中心市街地整備計画検討委員会	
H20	平成19年度に策定した都市再生整備計画に基づき、南口駅前広場、ペDESTリアンデッキ、北口横断歩道橋の基本的な設計を検討する。（測量及び土質調査含む）	野洲駅周辺地区都市再生整備計画を基に、主に、南口駅前広場、ペDESTリアンデッキ、北口横断歩道橋の基本設計を作成した。	〃	
H21	平成19年度に計画策定を行った野洲駅周辺地区都市再生整備計画の課題について、再検討をする。そのために、野洲駅前中心市街地整備計画調整作業会を設置した。	新たに野洲駅中心市街地整備計画（案）を作成し、平成20年度に作成した野洲駅南口駅前広場の基本設計について、計画の検証を行い、修正を行った。内容としては、南口駅前広場のペDESTリアンデッキの廃止、横断歩道の復活や迂回路の検討継続、小ロータリーの維持などが決まった。	・野洲駅前中心市街地整備計画調整作業会	
H22	平成21年度の野洲駅前中心市街地整備計画調整作業会を完了させるとともに、野洲駅前広場基本設計修正業務に基づき、野洲駅南口駅前広場の設計を実施する。また、設計に市民、関係者の意見を反映するために、野洲駅周辺地区整備検討委員会を設置し、市民をはじめとする関係者意見を反映できるようにする。	・野洲駅中心市街地整備計画（案）の完了 ・野洲駅南口駅前広場整備計画（案）の公表	・野洲駅前中心市街地整備計画調整作業会 ・野洲駅周辺地区整備検討委員会	

2) H17～H21における検討経緯

・H17～H21における検討結果を示します。土地利用の形態やペDESTリアンデッキなどの検討が行われています。



3) 野洲駅中心市街地整備計画(案)

・H22に作成しました「野洲駅中心市街地整備計画(案)」の概要は以下の通りです。

この計画は、平成22年 7月15日に作成したものです。



表. 事業の工程

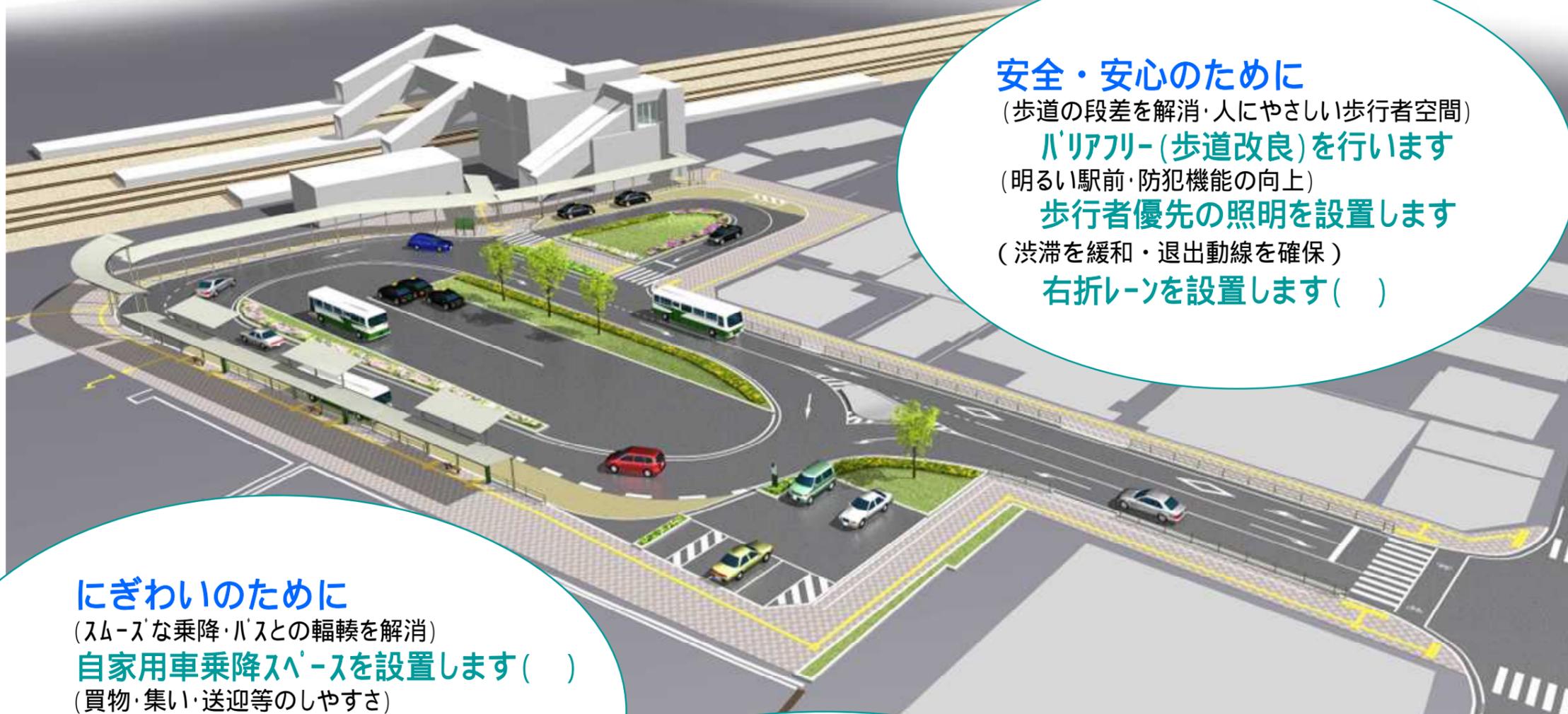
この計画は、平成22年 7月15日に作成したものです。

事業		H21	H22	H23	H24	H25	概算事業費
主な内容	野洲駅南口駅前広場整備		設計	工事	工事	工事	385
	野洲駅北口駅前広場整備			設計	工事	工事	(設計25)
	バリアフリー整備						903
その他	公園整備(2箇所)			南口	北口		98
	景観計画(市全域)						15
	道路整備計画(市全域)						7
合計							1,408

事業費は、あくまでも概算金額であり、今後、関係者協議、実施設計により変動する可能性があります。概算事業費の合計額には、野洲駅北口駅前広場整備の事業費は、含まれません。



この計画は、平成22年 7月15日に作成したものです。



安全・安心のために

(歩道の段差を解消・人にやさしい歩行者空間)

バリアフリー(歩道改良)を行います

(明るい駅前・防犯機能の向上)

歩行者優先の照明を設置します

(渋滞を緩和・退出動線を確保)

右折レーンを設置します()

にぎわいのために

(スムーズな乗降・バスとの輻輳を解消)

自家用車乗降スペースを設置します()

(買物・集い・送迎等のしやすさ)

一時駐車場(30分無料)を設置します()

(バスの路上待機を解消・広場を有効利用)

バスプールを設置します()

景観のために

(景観に配慮・広い歩道)

電線類の無電柱化を行います

(心やすらぎ、潤いのある駅前緑化)

緑のボリュームアップ(目標10%)を行います



現在の駅前広場

1) 野洲駅南口駅前広場整備計画(案)の公表

- ・野洲駅中心市街地整備計画のひとつである、野洲駅南口駅前広場整備計画(案)を策定し、野洲市役所ホームページにて公表しております。
- ・この計画(案)は、平成21年度に市民の代表の方、商工会、JR等の野洲駅周辺の関係者の方、学識経験者の方のご意見をいただきながら、公安委員会等の関係機関と協議の上、作成したものです。
- ・公表により、市民の方からご意見、ご要望をいただきました。次項以降に「野洲駅南口駅前広場整備計画(案)」の概要と寄せられました意見の内容と意見に対する対応についてまとめております。

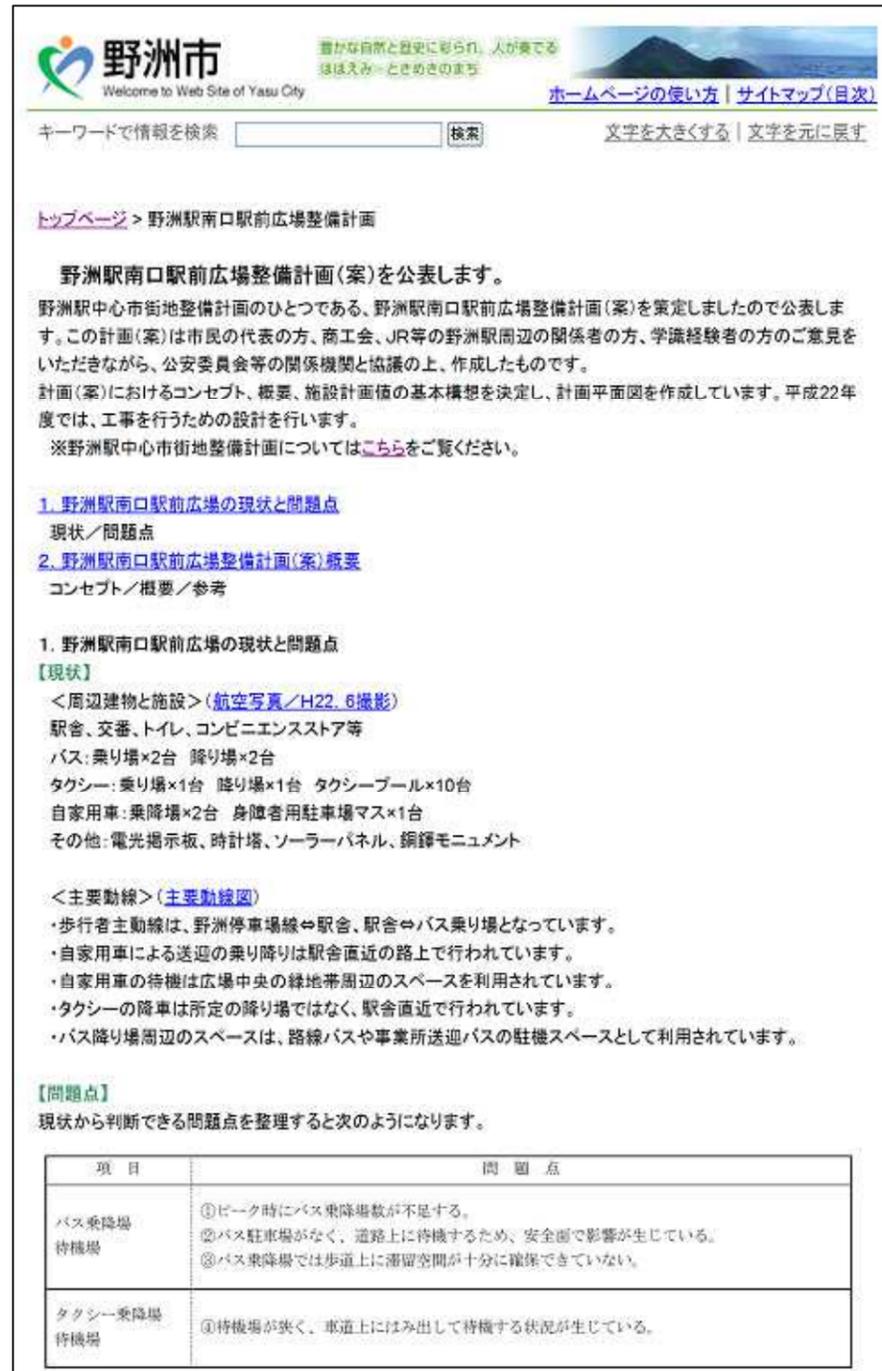


図. 野洲市役所ホームページ

(<http://www.city.yasu.lg.jp/doc/tosikensetubu/tosikeikakuka/minamigutikeikaku.html>)



図. 公表内容(野洲市役所ホームページ)

2) 野洲駅南口駅前広場整備計画（案）の整備概要

【コンセプト】

計画策定の指針となるコンセプトを定めました。

安全安心のために

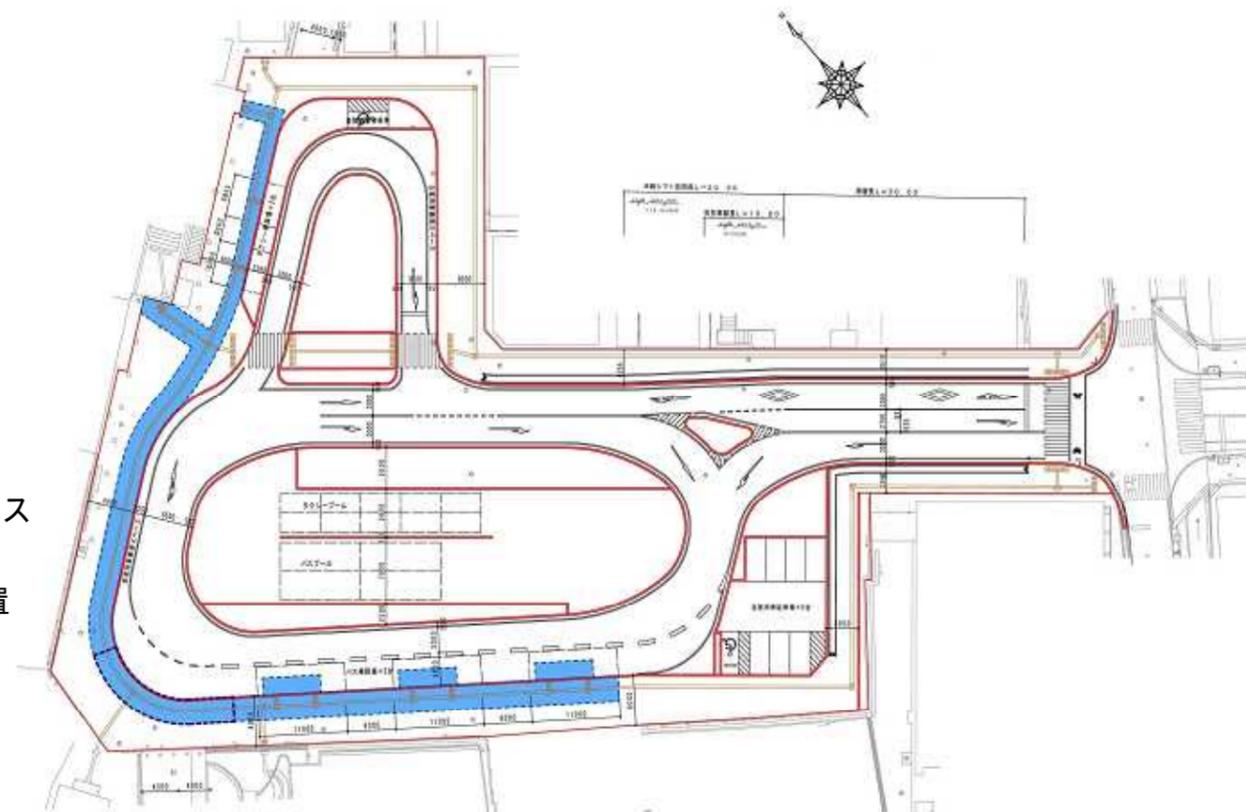
歩道のバリアフリー化を行うことで人にやさしい歩行者空間の創設
歩行者優先の照明を設置し防犯機能を向上させ、明るい駅前の実現
渋滞緩和を図るために右折レーンの設置

にぎわいのために

スムーズな乗り降り、バスとの輻輳を解消するために自家用乗降スペース
の設置
買物や集い、送迎等のしやすさを実現するために一時駐車場（30分無料）の設置
バスの路上待機の解消、広場の有効利用のためにバスプールを設置

景観のために

景観に配慮し、広い歩道を確保するために電線類の無電柱化を実施
心やすらぎ潤いのある駅前とするために緑のボリュームアップを実施



施設名		現状施設（平成 17 年調）	計画値
バス	乗降場	乗車場：2 台 降車場：2 台	乗降場：3 台
	プール		4 台
タクシー	乗降場	乗車場：1 台 降車場：1 台	乗車場：1 台 降車場：1 台
	プール	10 台	10 台
自家用車	乗降場	2 台	5 台
	駐車場		8 台
身障者用駐停車場		1 台	1 台

3) 市民意見への対応

- ・「野洲駅南口駅前広場整備計画(案)」に対する市民のみなさまからのご意見およびその対応案は以下の通りです。
 応募期間：平成22年11月1日(月) ~ 平成22年11月30日(火)

表. 市民意見に対する対応 1/2

項目	意見	対応案
景観	巨視的には、希望が丘文化公園へ直結した幹線道路を整備し、広場と道路には街路樹を植えてほしい。 巨視的・・・ 事物を全体的に観察するさま。	希望が丘文化公園へ直結した幹線道路は、野洲駅中心市街地整備計画において、長期の計画としていますが、具体的な内容までには至っておりません。 なお、広場と道路の街路樹の植栽は実施設計の中で検討することとしています。
	野洲駅前から国道8号までについて電柱をなくす。	現在、県と市が区域を分け、南口駅前広場から新幹線の高架までの区間について、電線地中化の取り組みを進めております。
	緑化目標が10%は低い。他の計画では20~30%の間で定められており、野洲市の玄関口としては定められた目標値を上回る緑化をしてほしい。	野洲市環境基本計画では、平成32年度を期限として、平地における森林緑被率を、区分に応じて目標設定しています。 幹線道路では延長の50%を緑化する目標設定がされており、また、公共施設は敷地面積の20%を緑化することとなっています。 駅前広場の場合、幹線道路として延長の50%以上を緑化する計画としており、また、道路通行部分を除いた南口駅前広場面積に対しては20%以上の緑化の計画としています。
	野洲市の顔は「三上山」であり、「駅前」を野洲市の顔とする表現は適切でない。	野洲市の自然の景観として、「三上山」が野洲市の顔であることは大多数の市民が認めるところで、一方、市街地の景観としては、交通結節点として多くの人が集まる駅前が野洲市の玄関口であり、顔であると考えています。 交通結節点・・・異なる交通手段を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設です。
ロータリー	ロータリーの許容面積を広くし、滋賀銀行前に右折レーンを設置することは良い	ご賛同頂いておりますとおり、設計どうり進めさせていただきます。
	野洲小北側プール横の道路及びほほえみの湯の北西側遊歩道を活用し時計回りのバス専用レーンを造る。	現在の計画案では駅前広場の区域を拡張し、待機バスの駐車スペースを確保することから、一定の改善が図れるものと考えています。
	駅に近い位置に設定されている自家用車の乗降スペースは、自動車数の減少傾向、環境安全面を考えると、自動車から公共交通、自転車、徒歩に転換すべきで、障害者、高齢者等の送迎は別途駅に最も近い所に設定すれば良く、自家用車が最深部に入り込むことは渋滞の緩和に反し、自家用車利用者が駅前を歩くことで駅前のにぎわいに繋がる。	自家用車の乗降スペースが駅前になっているのは、広場の拡張による形状変更に伴うものです。主要な公共交通を主に配置し、円滑な駅前広場利用を検討した結果、自家用車の乗降スペースが駅前になっています。 公共交通等の配置に対する具体的な理由は以下の通りです。 ・バスについては、利用者にわかりやすくするために、乗車場を3台分西側に集約して整備する。 待機スペースは広場中央に整備する。 ・障がい者・高齢者用の乗降スペースは、エレベーターに近い位置に整備する。 ・タクシーの乗車場は現状通りとし、待機車はバスと同様に広場中央に整備する。 また、自動車から公共交通、自転車、徒歩への転換については、環境基本計画において、一人ひとりが自動車社会を見直す「エコドライブ活動」やバス利用大作戦等により取り組みをしているところでもあります。 さらに、街のにぎわいについては、野洲駅中心市街地整備計画において、駅前広場の利活用や地区計画を活用した商業ゾーンの設定、野洲駅南口駅前広場から国道8号までのシンボルロード化などを掲げています。

表. 市民意見に対する対応 2/2

項目	意見	対応案
ペDESTリアンデッキ	バス専用レーンに併せ、野洲駅の2階からバス停へ直結する横断歩道橋を設置する。	ほほえみの湯の北西側遊歩道をバス専用レーンに変えないため、バス停への横断歩道橋は必要ないと考えています。
	<p>ペDESTリアンデッキは、エスカレーター前の横断歩道を存置しているので、商業施設等にアクセスできるような状態になるまで整備しない方がよい。</p> <p>ペDESTリアンデッキ・・・高架等によって車道から立体的に分離された歩行者専用の通路</p>	今回、ペDESTリアンデッキの設置は行わない計画です。
バリアフリー	歩道の屋根が長くなるのはよい。	ご賛同頂いていますとおり、設計どうり進めます。
	点字ブロックに足元が光るLED(発光ダイオード)の使用を提案する。	費用面も含め検討したいと考えます。 製品単価：12万円/個(通常は1.2千円/個)
その他	<p>事業化にあたっては、JRとの協定について、線路側シェルター庇からエスカレーターの駅舎側までを野洲市管理とし、バス・タクシーの占用料及び通常維持管理の不公平を見直すこと。</p> <p>シェルター・・・交通機関において、旅客や貨物を雨風から守る施設</p>	野洲駅南口駅前広場は、建設当時より、鉄道事業者(JR)と都市サイド(野洲市)が維持管理内容も含め協定により取り決めをしている供用施設でありますので、見直すことは難しいものと考えております。
	公表場所でも「野洲駅前中心市街地整備計画(最終案)」を閲覧すべき。	<p>今回は「野洲駅南口駅前広場整備計画」についての意見募集のため、当計画のみとさせて頂きました。</p> <p>なお、「野洲駅前中心市街地整備計画(最終案)」は、ホームページ上にすでに公表していたので参考にリンクしたもので、閲覧場所では、意見募集内容を間違えられる恐れがあるため、備えおきませんでした。</p>
今回対象外	<p>微視的には駅前の土地を確保して、やすらぎや憩いの広場としてほしい</p> <p>微視的・・・物事を微細に観察するさま。</p>	<p>今回市民意見を募集した趣旨は「野洲駅南口駅前広場整備計画(案)」を踏まえた実施設計を進めるに当たり、事前に市民意見を求めたもので、ご意見は野洲駅周辺のまちづくりにかかわるものであり、別途に検討すべき案件と考えます。</p> <p>なお、現在、野洲市では、ご意見のあった案件についての内部検討会を公開で進めております。</p>
	北口にはホテルがほしい	北口の検討段階で参考とさせていただきます。
	野洲駅前から国道8号までについて信号機を系統化する。	現在、対象の信号機は、広域の円滑な交通の流れのため系統化に含まれております。
	北口は野洲市の単独施設であり、占用物件の状況を調査し、適正な対応とすべき。	北口広場開設時、JRとの協議を経て、占用されているものでございます。
	「野洲市中心市街地整備計画(最終案)」について、1)最終案の表現が不適切、2)朝鮮人街道の一方通行は維持すべき、3)野洲停車場線の4車線化、駅下のアンダーパス、湖南市方面へのトンネルは必要ない、4)自動車主体の渋滞対策より徒歩・自転車・公共交通への誘導をおこなうべき、5)三上山が見えなくなるような高度利用は大幅に制限すべき。	今回は「野洲駅南口駅前広場整備計画」についての意見募集でありますので、このような意見があったことは認識しておきます。

1) 検討項目の整理

- ・野洲駅南口駅前広場における実施設計を行うにあたり、本委員会で検討する項目は、法令による事項や敷地条件などの個別対応となる事項を除いた項目とします。
- ・以下に、本委員会における検討方針と具体的な検討項目を示します。

【検討項目選定方針】

委員会で検討する項目

1. 基本計画の項目で、野洲駅中心市街地整備計画調整作業会において検討できていないもの。
2. 実施設計で比較検討を要するもの。

委員会で検討しない項目

- A. 法令に定めがあるもの（道路法、道路交通法等）
- B. すでに基本計画が作成されているもの（バリアフリー計画等）、又は別途委員会で検討中のもの（景観計画）
- C. 個別対応となるもの（JR、地権者協議等）は本委員会で検討は行わず、必要に応じ報告を行う。

表. 委員会で検討する事項

検討項目	根拠	委員会における検討内容
駅前広場の修景基本計画	1	野洲市の顔とするための修景方針の検討
自転車の取り扱い	1	自転車と歩行者との分離
バリアフリー	1	バリアフリー計画に基づき、車いす関係車輛の停車マスの位置、点字ブロックの材質等
歩道計画	1	歩道の幅員構成
照明設計	2	色、灯具、ポール等
案内標識	2	統一性
モニュメント	2	位置、形、大きさ等

表. 委員会で検討しない事項

検討項目	根拠	関係法及び関係機関
道路構造	A	道路構造令等
道路交通関係協議	A	公安委員会（道路交通法）
交通事業者協議	C	JR、バス事業者、タクシー事業者
電線類地中化	C	電気・通信事業者
景観計画	B	野洲市の景観を考える委員会で検討中

野洲駅周辺地区整備検討委員会における検討項目（野洲駅南口）

- : 地上機器 (案)
- : 道路照明位置 (案)
- △ : 歩道照明 (案)

修景基本計画
歩道照明灯のデザイン

修景基本計画
道路照明灯のデザイン

修景基本計画
案内サイン

修景基本計画
植栽計画

修景基本計画
モニュメント

修景基本計画
シェルターのデザイン

修景基本計画
タクシール

修景基本計画
バスプール

修景基本計画
バス停 × 3

修景基本計画
自家用車乗降場

修景基本計画
自家用車駐車場

修景基本計画
バリアフリー
車いす用停車帯の位置

修景基本計画
バリアフリー
誘導ブロックの位置、色彩

修景基本計画
自転車
歩行者と自転車の分離

例：地上機器のイメージ

例：自転車の取り扱いイメージ

例：ベンチのイメージ

例：案内サインのイメージ

例：植栽計画イメージ

例：シェルターのイメージ